

2) シラバス

分野	専門分野Ⅰ —基礎看護学—	対象学年	1
		時期	前期
授業科目	看護学概論Ⅰ Introduction to Fundamental NursingⅠ	単位	1
		時間	30
		方法	講義
担当教員	始業後、担当教員一覧および授業ガイダンスにて確認		
科目責任者	看護師として附属病院で12年間の実務経験有		
授業概要	<p>看護は人間の健康に大きく関わる。本科目では健康と環境、環境と人間の関わりについて考え、看護実践の基礎として看護の基本概念を学ぶ。</p> <p>看護が今日に至るまでの軌跡を起源から辿り、歴史上の事実を学ぶことによって看護を再確認し、人間社会に貢献しており、多大な存在意義があることを学ぶ。そして看護に対する考え方や、社会的評価が歴史的にみてどのように変化していったのかを、その時代の生活、宗教、経済、社会（特に戦争）などとの関連から学ぶ。各内容ごとのワークシートを活用し、適宜GWを行いながら看護の構造や実践の場・対象の理解、看護倫理の育成を図る。</p>		
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護の本質について理解する。 2. 看護の原点、F.ナイチンゲールとV.ヘンダーソンの看護観を知る。 3. 看護の歴史を理解する。 4. 職業としての看護を理解する。 5. 看護職者の養成について理解する。 6. 看護の対象としての人間を理解する。 7. 健康の概念を理解する。 8. 看護における倫理を理解する。 9. 看護サービスの場を理解する。 10. 看護をめぐる制度と政策を理解する。 11. 看護の活動領域としての災害看護を理解する。 12. 看護の活動領域としての国際看護を理解する。 		
評価方法	終講試験90点 課題ワークシート提出10点（入学後すぐに課題を提示する）		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学 看護学概論（医学書院） 看護覚え書き（日本看護協会出版会） 看護の基本となるもの（日本看護協会出版会）		
参考図書			
メッセージ	看護学校に入学してはじめて「看護とは」について学ぶ科目です。看護の歴史や偉大なる先人の功績を学びながら、これからの看護についての視野を広め、看護について考えていきましょう。		

回数	単元・主題	授業のねらい	授業内容	方法	備考
1	看護学概論Ⅰガイダンス・看護の歴史	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護を学ぶ意味や意義を確認する 2. 看護の歴史を概観する 3. 看護の原点となる近代看護の始まりを理解する 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護を学ぶ意味や意義を確認し、入学の動機や各個人の「看護」についてのイメージを述べて、今後の学習の動機づけとする 2. 近代看護教育草創期の各校の特徴から看護基礎教育の歴史を学ぶ。 	講義 GW DVD	

2	看護の原点 ナイチンゲールの看護観とハンダーソンの看護観	1. ナイチンゲールの看護理論の概略を理解する 2. ハンダーソンの看護理論の概略を理解する	フローレンス・ナイチンゲール著：「看護覚え書きー本当の看護とそうでない看護ー」ヴァージニア・ハンダーソン著：「看護の基本となるもの」の看護論	講義 GW	課題を活用して学習
3	「看護」の本質	1. 看護の本質を理解する 2. 看護の役割と機能について理解する 3. 看護の継続性と情報の共有を理解する	看護の原点と語源、ナイチンゲール以前の看護と近代看護の確立、看護理論（大理論）、看護の定義（理論家による定義、職能団体の定義、定義の構成要素、法律上の看護師の役割）、看護行為としての本質ーケアー、看護の質の保障、自立した看護師に求められる能力、看護の継続性と情報共有	講義 GW	
4					
5	職業としての看護	1. 職業としての看護の始まりを理解する 2. 職業としての看護の確立を理解する 3. 職業としての看護の新たな展開を理解する	職業としての看護の始まりと保健師助産師看護師法の制定、看護師の人材確保に関する問題、看護師の質の向上への取り組み。今後期待される看護師のあり方	講義 GW	
6	看護職者の養成	1. 看護職の養成制度を理解する 2. 看護職者の教育とキャリア開発を理解する 3. 看護職者の役割拡大の現状を理解する 4. 看護教員の育成について理解する	法的な規定、看護職者の養成と就業状況、看護職者のキャリア開発、看護職養成に関する課題、拡大する看護職の役割、看護教員養成	講義 GW	
7	看護の対象：人間の概念	1. 人間の「こころ」と「からだ」を理解する 2. 生涯発達し続ける存在としての人間を理解する 3. 身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的側面をもつ統合体としての人間を理解する 4. 生活者としての人間を理解する 5. 看護の対象としての家族・集団・地域を理解する	身体理解とこころのつながり、ストレス反応、こころの理解に役立つ理論（マズローの欲求の階層、危機理論）、成長・発達・発育、生活者としての人間、看護の対象としての集団、身体的・精神的・社会的・スピリチュアル的側面を持つ統合体としての人間の理解	講義 GW	
8,9	健康の概念	1. 健康とは何かを理解する 2. 健康観の変化を理解する 3. 統計から健康状態を理解する	健康の定義、ICFの考え方、健康の概念に変化を及ぼす因子、統計からみる日本人の健康状態	講義 GW	

10	看護における倫理	<ol style="list-style-type: none"> 1.現代社会における職業倫理を理解する 2.医療をめぐる倫理の歴史の変遷を学ぶ 3.看護実践における倫理問題への取り組みを理解する 4.倫理原則を理解する 	倫理とは、倫理を学ぶ意味、職業倫理と看護倫理、医師会の取り組み（ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言から）、看護師協会の取り組み、倫理原則、現代医療を取り巻く倫理問題	講義 講義 GW	
11	看護の提供のしくみ 1.看護サービスの場	<ol style="list-style-type: none"> 1.サービスとしての看護を理解する 2.看護サービスの場を理解する 	看護サービスの提供の場、チーム医療における看護師の役割、医療施設の定義、地域における看護の特徴	講義 GW	
12	2.看護をめぐる制度・経済と医療安全	<ol style="list-style-type: none"> 1.看護・医療に関わる法制度を理解する 2.医療安全と医療の質の保障を理解する 3.看護サービス管理を理解する 4.看護・医療における経済のしくみについて理解する 	看護サービスと看護職者に関わる法律、看護職者の労働に関わる法律、医療事故における法的責任、ヒューマンエラーと医療事故、看護サービス管理とは、組織とは、医療制度の概要	講義 GW	
13	看護の活動領域 国際看護	<ol style="list-style-type: none"> 1.国際的な健康課題について理解する 2.看護の国際協力のしくみを理解する 3.国際看護活動の展開と在日外国人への看護の実際を理解する 	国際看護学とは、発展途上国の定義、健康と保健医療の世界的課題、国際協力のしくみ、国際看護活動の展開、在日外国人の看護と異文化理解	講義 GW	
14	看護の活動領域 災害看護	<ol style="list-style-type: none"> 1.災害看護の特徴を理解する 2.災害サイクルにそった看護を理解し災害に対する備えについて考える 	災害の定義、災害の種類、災害看護の定義、災害看護の特徴、災害サイクルと看護ニーズ、災害サイクルの沿った看護	講義 GW	
15			終講試験		